

# 共に生きよう ふれあいのまち 映画会

映画「マザー・テレサ」  
出演：オリビア・ハッセイ

▶日時 **8月6日(日) 入場無料**  
午前の部 午前10時～(開場 午前9時30分)  
午後の部 午後1時30分～(開場 午後1時)  
▶場所 中央公民館 大ホール  
▶問い合わせ 生涯学習グループ ☎079(435)0565



主催/播磨町、播磨町教育委員会  
共催/播磨町人権・同和教育研究協議会  
協力/要約筆記ひまわり、手話サークルはりま

播磨町は、人権尊重のまちづくりを目指して、様々な人権啓発事業を行っています。

8月は、「人権文化をすすめる県民・町民運動推進強調月間」にあたり、その取り組みの一つとして「共に生きよう ふれあいのまち」映画会を開催します。

皆さまに、ぜひご鑑賞いただき「マザーの愛」についてご家庭で話し合っただけであれば幸いです。

※駐車場がいっぱいになる場合がありますので、できるだけ徒歩か自転車でお越しください。

※1歳児以上の託児を希望される方は、ボランティアの都合がありますので、必ず7月31日(月)までに生涯学習グループへ申し込んでください。なお、予約された方で都合が悪くなった場合は、至急連絡ください。

※ロビーにて小・中学生の人権標語・ポスターを展示しています。

## 《作品解説》

1946年、場所はインドのカルカッタ。カトリック修道院内の女子校で教師をしていたマザー・テレサは、イスラム教徒とヒンズー教徒の抗争で負傷したインド人を助けたことで、修道院長と対立してしまいました。しかし「自分の居場所は修道院でなく、貧しい人々の中」と考えるようになったマザーは、一人で街に出て人々に救いの手を差し伸べました。やがてマザーは自分の信念に従って自由に活動できるよう「神の愛の宣教者会」を設立しました。

宗教や人種にこだわらず、あふれるような愛情を人々に傾けたマザー・テレサの半生を描いています。彼女の名前はあまりに有名ですが、なぜ彼女が聖女なのか、なぜ彼女がノーベル平和賞を受賞したのか、この映画はそれを心から理解できるすばらしい映画です。

## 本荘北自治会のもちつき大会

一昨年度から、「いきいきフォーラム」としてもちつき大会を実施する自治会が増えてきました。高齢者がもちつきの仕方を指導し、親子がついて、みんなでもちを食べる世代間交流の場です。各戸の孤立化と急速な高齢化といった課題解決のための一つの取り組みといえます。

## 大切なのは「話し合い」！

「いきいきフォーラム」は、新たな行事や活動のことではなく、これまでの自治会活動に、よりよい人間関係づくりへの工夫をしていくものです。例えば清掃活動で、掃除が終わると各自帰宅していたものを、班ごとに集まって少し話し合うだけでも、その後近所同士の交流が深まったとの報告がありました。また、そ

の話し合いで出た意見を自治会運営に活かしているという自治会もあります。防災訓練では、各家での「備え」や支援の必要な家庭について話し合ったり、防犯講座では被害経験や対策を話し合うなどして、不安を共有し、お互い支え合う気運が高まってきたとの報告もありました。そして世帯数の多い自治会

では、一斉に話し合うことができないために、まず毎月の班長会でテーマを決めて話し合いをしているところもあります。よりよい人間関係は、笑顔のあいさつから始まり、共に話し合い、共に行動して築かれていくものです。「いきいきフォーラム」がそのきっかけになればと期待しています。



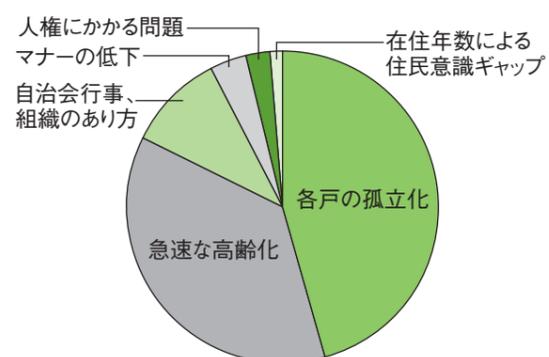
# 話して つながって

平成13年から各自治会で始まった「いきいきフォーラム」は、人権尊重のまちづくりを担って、よりよい人間関係づくりを進めていく自治会の活動です。地域のよりよい人間関係づくりには、各自治会固有の課題があり、その課題解決に向けた主体的な取り組みが「いきいきフォーラム」です。

## よりよい人間関係づくりの課題は？

グラフのように、よりよい人間関係づくりへは、「各戸の孤立化」「急速な高齢化」が大きな課題に挙げられています。確かに、ほとんど近所づきあいのない家庭や引きこもりがちの高齢者が増えています。

「よりよい人間関係づくり」への課題  
(昨年度の「いきいきフォーラム」報告79件より)



課題	件数	%
1 各戸の孤立化	36	45.6%
2 急速な高齢化	29	36.7%
3 自治会行事、組織のあり方	8	10.1%
4 マナーの低下	3	3.8%
5 人権にかかる問題	2	2.5%
6 在住年数による住民意識ギャップ	1	1.3%
計	79	100%